

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日
3. 業務の範囲	〈1〉 児童発達支援事業及び基本的動作指導、適応訓練、相談・検診・育成支援 心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び検診を行い、その育成を支援する。 〈2〉 施設及び設備の維持管理

4. 採点表

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(一点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)		施設の特性から評価対象外の項目					
			②利用人数			施設の特性から評価対象外の項目				
		(2)市の事業の企画・運営		20	仕様書以上:20～16点、仕様書に忠実:15～12点、仕様書の一部不実施(軽微):11～9点、仕様書の一部不実施(中程度):8～4点、それ以下:3～0点	別紙の事業評価表のとおり	仕様書に忠実 15点	仕様書どおりの事業が不足なく行われている。また、事業内容も市が期待したとりのものとなっている。	15点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(20点)		20	内容・事業数等が期待以上:20～16点、内容・事業数等が例年通り:15～12点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:11～9点、内容・事業数等が例年より劣る:8～4点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:3～0点	別紙の事業評価表のとおり	内容・事業数等が例年通り 15点	自主事業が適度な回数、実施されている。また、事業内容は、センターの設置趣旨に合ったものとなっている。	15点	

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	職員によるセンター内の清掃 毎日 シルバー人材センターによる館内清掃 週3日 床面ワックスがけ 年1回	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
					電気設備点検を年3回実施(5/19,9/19,1/19) 職員による遊具の点検を週2回(月・金曜日)実施 業者による遊具の超音波保守点検を年2回実施(8/30、3/24)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					消防用設備等点検・外観及び機能点検を年2回実施 消防訓練を年2回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					①プール日よけ 90,882円 ②鉄棒解体 64,800円 ③印刷機修理 21,168円 ④プリンター修理 11,880円 10万円未満であったため、仕様書の定めより指定管理者の負担による。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
					園庭遊具の老朽化が進み、業者による点検でも安全基準を満たしていないことが指摘されている。使用できない遊具については「使用禁止」を周知している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	多治見市社会福祉協議会文書管理規定により、管理・保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	11点
					・空調の設定温度を適正なものとし、(28℃)利用者にも協力を呼び掛けている。利用者・職員不在の部屋の消灯を徹底。 ・パソコンは使用時のみ電源を入れる。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					・保育園の跡地のため、全面的に整備されているとは言えないが、利用において不都合が生じないよう配慮・介助を心がけている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 老朽化によりバリアフリーが不十分な施設で、障がい児に事故がないよう配慮しながら療育に努めている姿勢は評価できる。	
					・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーにて適正に管理。破損備品は、報告の上廃棄処分。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
					・個人情報や台帳は鍵付きロッカー・キャビネット収納 ・暗証番号でUSB保管 ・USB・個人ケースファイル等個人情報は、施設外持ち出し禁止	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	0点
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に実施されている。	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	43,599,500(収入)÷41,385,335(支出)≒105.4%	105%以上 5点	人件費が昨年度比で大きく減少している。その年々の職員の配置により人件費が大きく影響している。	5点

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	6カ月ごとに管理者と保護者との面談、グループ懇談、個別懇談、及びアンケートや日常的な会話からも保護者の要望等を把握し、職員内で検討、共通理解し、必要な改善と保護者の理解・協力を図っている。親の会との定例会(月1回)や年度末にアンケートを実施し、行事等の見直しに反映した。	期待以上 8点	適正に実施されている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・適正(普通) 4点	適正に実施されている。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・待機教室のグループ数を対象人数の増加に合わせて拡大させ、待機対象者への継続的なフォローの充実を図ってきた。 ・愛児、養正の「ことばの教室」の職員を招き、情報共有に努めた。 ・8/2夏まつりの開催、10/26笠原福祉まつりへの参加を通じて、利用者家族の交流や地域との交流に努めた。	期待以上 13点	保護者の療育に対する前向きな気持ちにつながり、早期からの療育支援を図る方向ができた。	13点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等はなし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			協定書通り事業が不足なく、内容も目標通りに忠実に行われ、施設管理等も適正に実施されている。	81点 良好	